

五ヶ年々賦ノコト)

二、桑園小作料ヲ藪ニ換算シテ藪價格ヲ支持フ  
(生藪三貫建)

三、債務取立ノ休止

(價格ト生産費ト一致スルマデ)

四、生藪ノ差押禁止

五、乾藪取引反對 等デアリ

恒久策トシテハ農村工業化ノ一私案アルガ(養蠶農民ノ協同組合ニヨル製糸カラ染色マデノ工場ノ建設)コレハ今ノ制度下デハ實現性乏シイ。

多田 徳島ノ養蠶農民ハ、調停若シクハ和解デキメタ條項ガ履行出來ナイ、履行デキンデモ地主ノ方デ遠慮シテクレ、バ、ヨロシイガ、ソウハユカヌ。執行ガクル。コレガ問題ノ一ツデアル。モウ一ツハ飯米不足デ、農民ハ桑園ニ於イテ一ウネオキニ、

稻ヲツクルコトニシテキルガ、明日ノ飯米ニ事欠ク今日、現金ヲ必要トシ、マターケ月々、ネバ農民ノ手ニ入ラヌ政府米ハコレガ利用ハ不可能デアリ、ドウシタラヨイカ吐息ヲツクバカリデアル。

鈴木 徳島縣小作官ハ調停ソノ他ニ於テ、藪建小作料ヲス、メテキル。平均反當收藪量十八貫ニ對シテ、コノ藪建小作料ハ九貫ガ大体ノ標準デアルノデ貧農ニトツテハ少シモヨイコトハナイ。徳島ニオケル養蠶農民ノ要求ハ、滞納小作料及債務ノ取立休止ト飯米貸下ゲデアル。

須永 債務調停實施後二年、制定當時ノ昭和七年ヨリモ、農村ノ夏ニ窮迫シタ今日、再調停ヲ調停ヲヤリナホスコト、及ビ桑園年貢小作調停ノ運用ニツイテ關係當局ニ我々ノ要求ヲ詳ヘルコトモ大切デアラウ。マダ群馬ノ藪建三貫目ノ根據ハ、一ヶ年通ジテ平均反當收藪量三十貫、遺作保險二割トシ二十四貫、ソレ